

上部消化管内視鏡検査 (胃カメラ) の流れ



胃の中の泡を消して、観察しやすくするための
消泡剤を飲んでいただきます



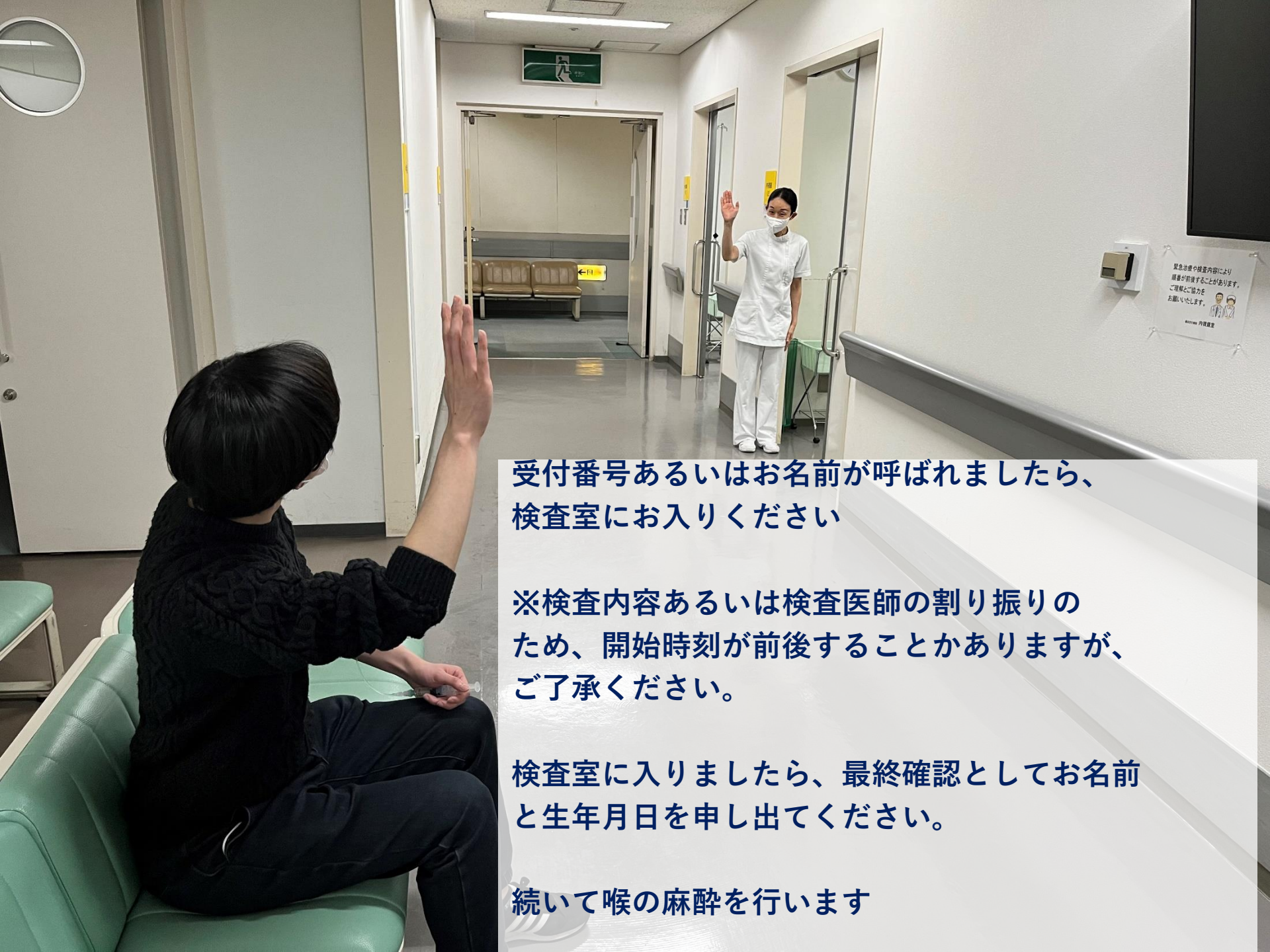
鎮静剤を使用して検査を行う方は、事前に点滴をいれます

※ 検査後の安静を保つスペースの都合上、鎮静剤使用の希望は検査当日では対応できません。外来での検査予約時に担当医師にお伝えください。

サーバー室

リカバリー
コーナー

入れ歯のある方は検査前までに外してお待ちください。
口紅をしている方は検査前までに拭き取ってください。

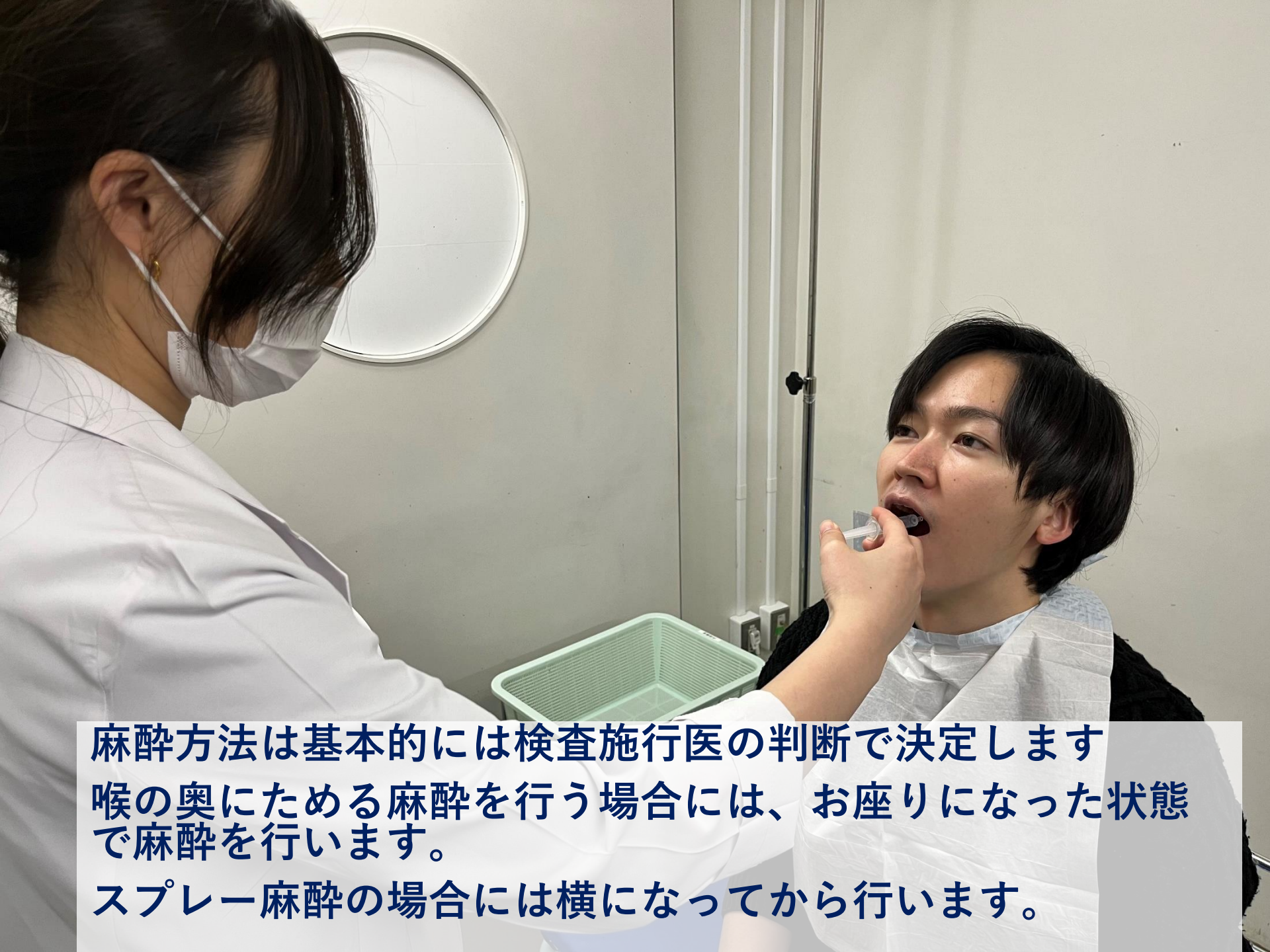


**受付番号あるいはお名前が呼ばれましたら、
検査室にお入りください**

**※検査内容あるいは検査医師の割り振りの
ため、開始時刻が前後することかありますが、
ご了承ください。**

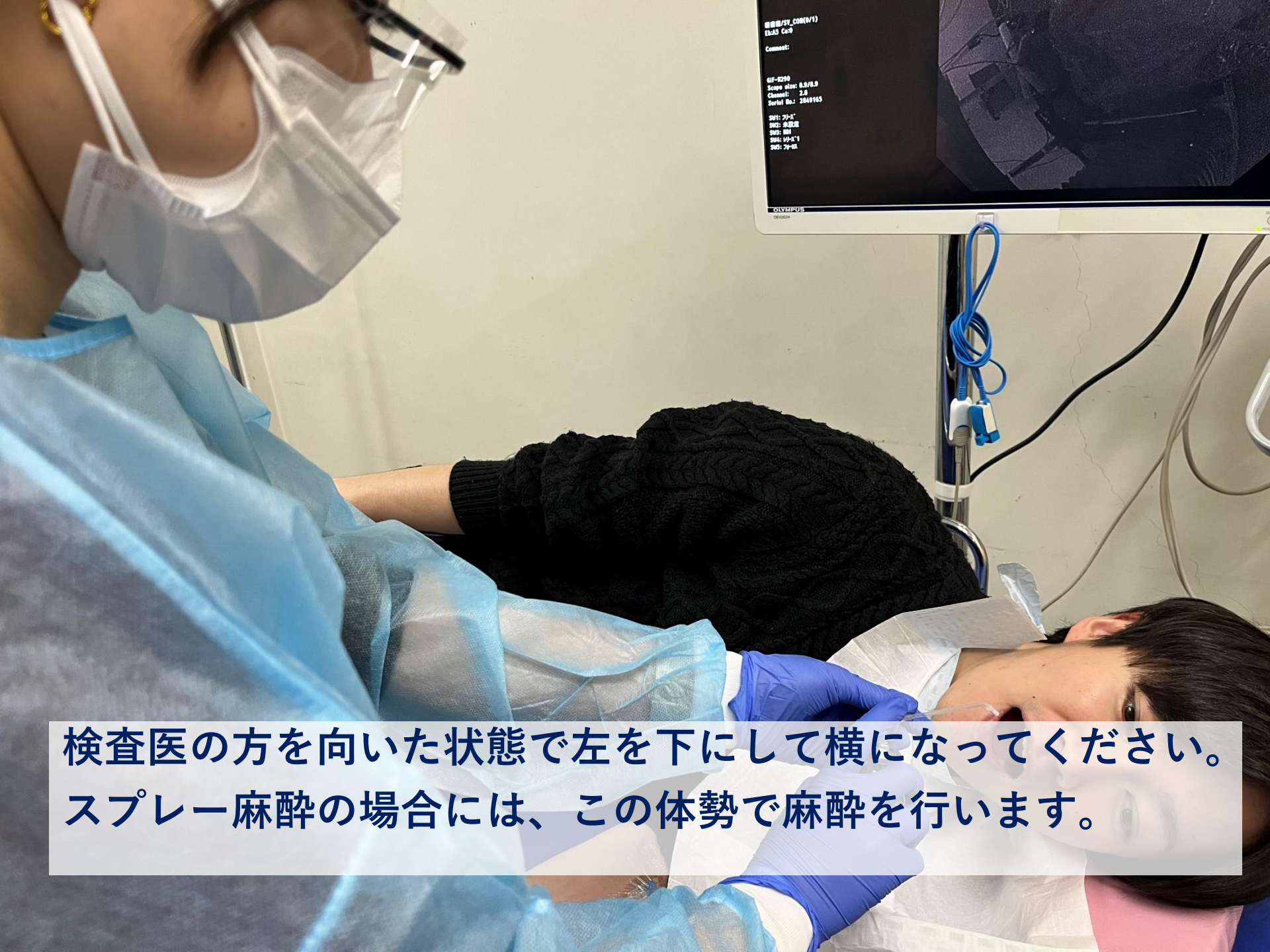
**検査室に入りましたら、最終確認としてお名前
と生年月日を申し出てください。**

続いて喉の麻酔を行います



麻酔方法は基本的には検査施行医の判断で決定します
喉の奥にためる麻酔を行う場合には、お座りになった状態
で麻酔を行います。

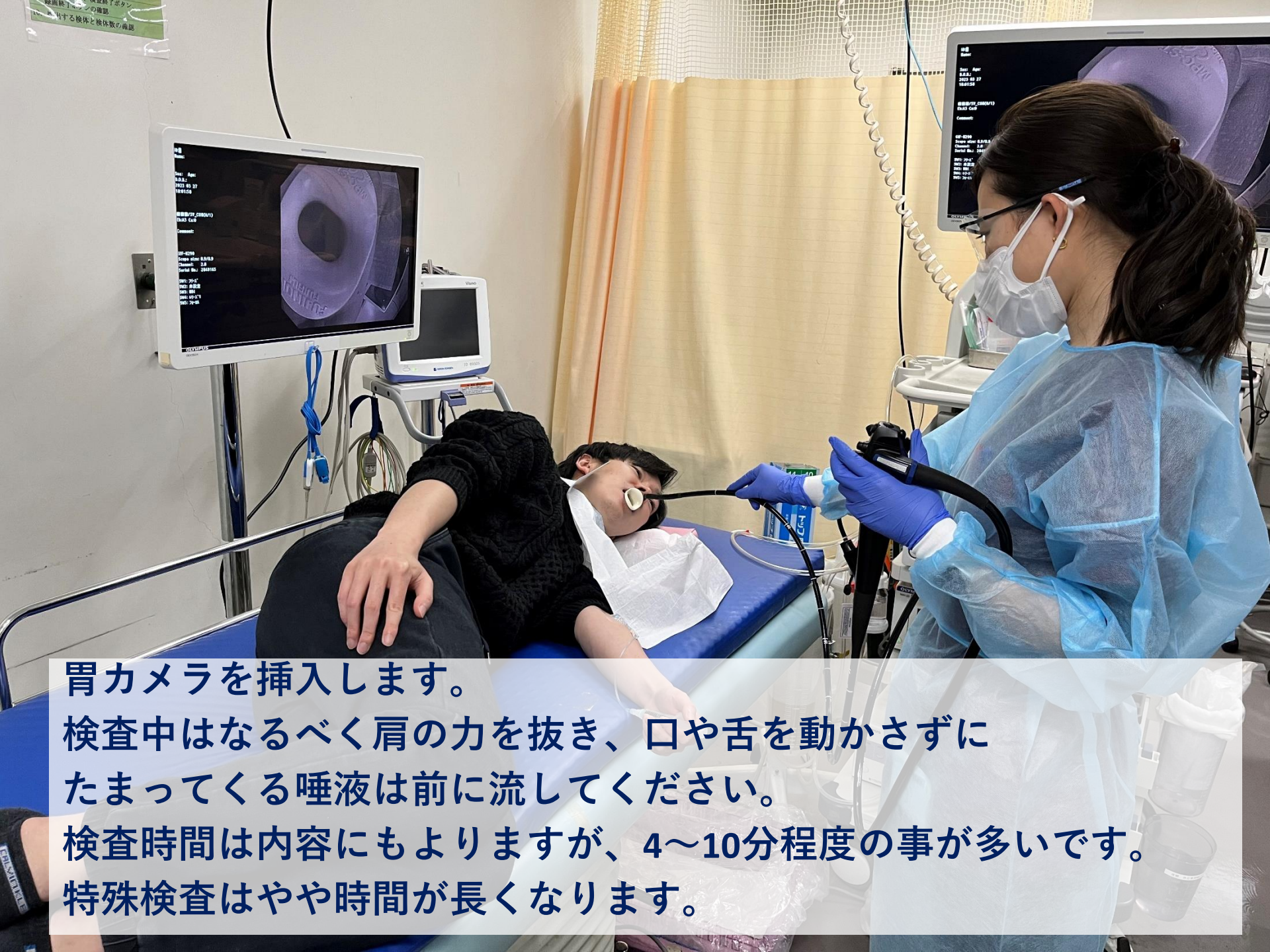
スプレー麻酔の場合には横になってから行います。



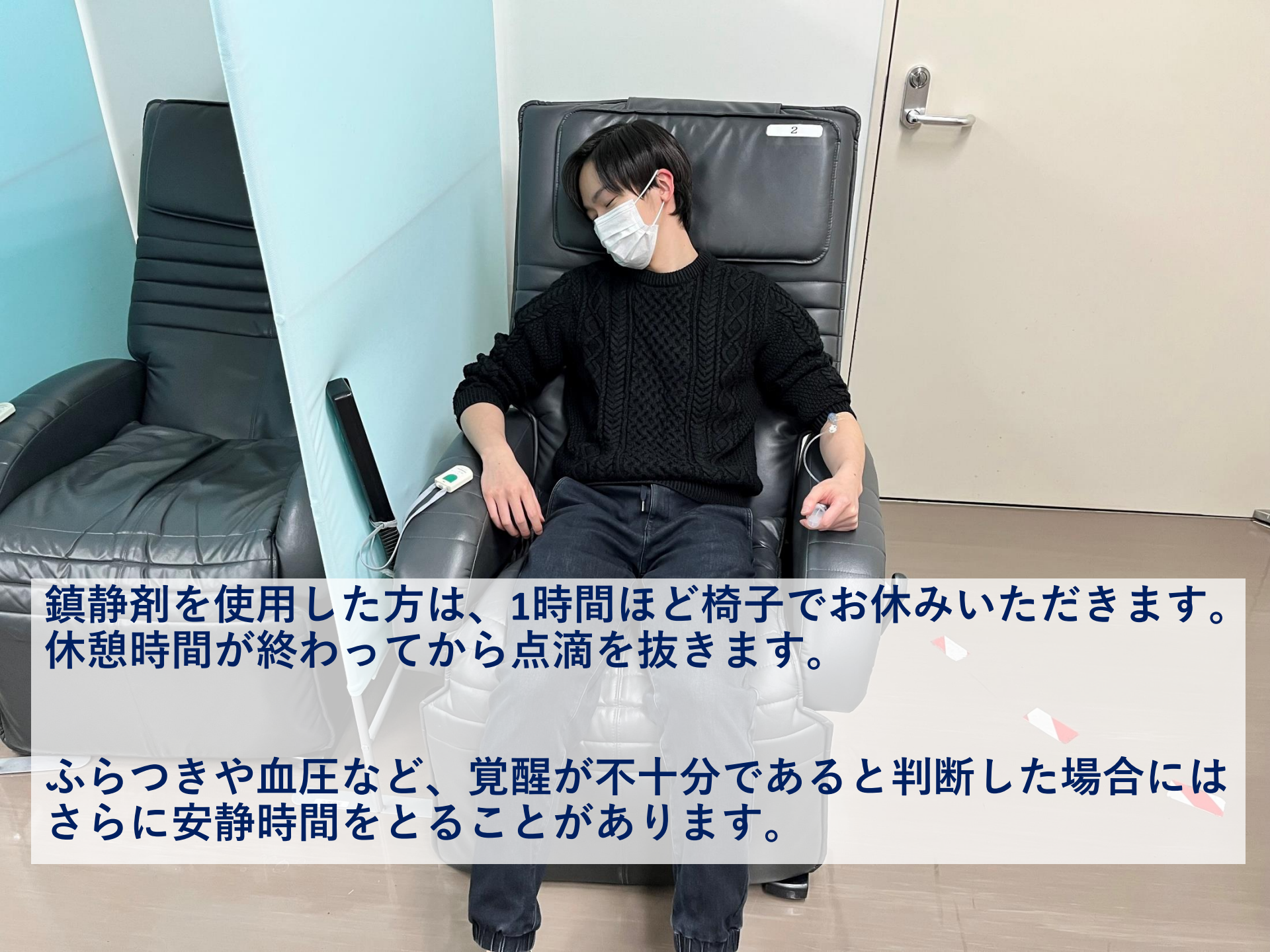
検査医の方を向いた状態で左を下にして横になってください。
スプレー麻酔の場合には、この体勢で麻酔を行います。



検査医の方を向いた状態で左を下にして横になってください。
スプレー麻酔の場合には、この体勢で麻酔を行います。
鎮静剤を使用される方は、血圧や酸素の値を測るモニターを
装着してから薬を投与します。



胃カメラを挿入します。
検査中はなるべく肩の力を抜き、口や舌を動かさずに
たまってくる唾液は前に流してください。
検査時間は内容にもよりますが、4～10分程度の事が多いです。
特殊検査はやや時間が長くなります。



鎮静剤を使用した方は、1時間ほど椅子でお休みいただきます。
休憩時間が終わってから点滴を抜きます。

ふらつきや血圧など、覚醒が不十分であると判断した場合には
さらに安静時間をとることがあります。

検査後の流れ

ロッカーを使われた方は、鍵を受付までもどしていただき
受付前で血圧を測定した上で、お待ちください

検査後の注意点について看護師からの説明を受けたのち、
お会計にご案内します。

(当日外来がある方は担当窓口に案内します)

検査後の注意点

喉の麻酔の影響により、むせこみの危険があります
検査終了1時間は水分摂取や上を向いての
「ガラガラ」したうがいは避けてください

1時間後に慎重に水分摂取を行い、問題なければ食事を
召し上がっていただいて構いません。

組織検査を行った方は 検査後出血を避けるため
食事摂取は検査終了2時間後からとしてください

3日間は刺激の強い飲食物（コーヒー、タバコ、お酒）を
控えて頂くことをお勧めします
当日は長時間の入浴は避け、シャワーなどとしてください

ご帰宅後

喉の痛みは違和感は数日続くことがありますので、症状がある場合には刺激の少ない食事としてください

急な動悸、息切れ、腹痛、黒色便や鼻血、吐血があった場合などにはお渡しする下記連絡先までご連絡ください

横浜労災病院 045-474-8111

平日 8：15-17：00 消化器病センター外来

上記以外の平日夜間、土日祝日：救急外来